

# はままつ



〈重点教育目標〉「わかる できる つかえる 伝わる」を実感できる子の育成

八雲町浜松239 TEL62-2462 FAX62-3190

学校HP: <https://www.town.yakumo.lg.jp/site/hamamatsu-es/>

令和7年1月31日

## 「まだ」と「もう」

校長 中田 和久

令和7年（2025年）乙巳（きのとみ）年。皆様におかれましては、初春を迎えましたことをお喜び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「一年の計は、元旦にあり」と言われます。昨年を振り返り、新たに今年の目標を立てた子供たちも多いでしょう。このことわざは、元々は中国で編纂された「月令広義」という年間行事や儀式等についての解説書の中にある「四計」に由来しているそうです。「四計」とは「一日の計は晨（あした＝朝）にあり。一年の計は春（正月）にあり。一生の計は勤にあり。一家の計は身にあり。」とあります。つまり「一日は一日の始まりである朝のあり方で決まり、一年は年のはじめの決意で決まる。人生はまじめに勤めることで決まり、一家の将来は身の振り方（生き方）で決まる。」ということです。私も年の初めにあたり、目標や計画を掲げ、努力することを、心していきたいと思ひます。

1月14日（火）、冬休みが明け、朝の登校時刻になると、久しぶりに会う子供たちから、満面の笑顔とともに元気なあいさつが返ってきました。この日の休業明け全校集会では、子どもたちに次のようなことを伝えました。

「今の時期は、『まだ』と『もう』の二つの考え方をもちて過ごすことが大切です。一つは、まだ50日もあるのだから、今までできなかったことにもう一度チャレンジしてみようと思ふことです。そしてもう一つは、もう50日しかないのだから、1日も無駄にせず今まで積み重ねてきたことを最後までやり遂げようと思ふことです。どちらも『我慢』と『努力』が必要なことは変わらないのですが、この『まだ』と『もう』の二つの考え方は、節目の時、締めくくりの時期には特に重要で、3月末の卒業式、修了式まで、みんなで励まし合ひて頑張り、そして誰もが胸を張って新年度を歩み始めてほしいと思ひます。一日一日を大切に過ごしましょう。」

これからの3か月間は「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と学校ではよく言われています。残り約50日余りの登校で子供たちは、一つ上の新しい学年に進級したり、中学校へ進学したりします。今後一人一人の子供たちが、自分らしく成長し、もっている力を十分に発揮できるように教職員一同子供たちを育て参ります。保護者、地域の方々には、昨年、学校教育に多大なるご理解とご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。今年も学校教育の充実のために、ご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

### 2月の主な行事予定

3日（火）	全校朝会 ALT来校	13日（木）	エナジータイム
4日（水）	租税教室（6年）	14日（金）	ノーゲームデー
5日（水）	スキー学習③	17日（月）	ALT来校
6日（木）	第3回なかよし学習	19日（水）	PTA・育成会役員会
7日（金）	ALT来校	20日（木）	エナジータイム
12日（水）	移動図書 児童会活動	26日（水）	6年生を送る会
		28日（金）	授業参観・懇談

## 子ども育成会冬季レクレーション

子どもたちにいろいろな体験をさせたいという育成会役員さんの思いから、今年は雪像づくり（悪天候の場合は室内で工作）が計画されました。子どもたちに何を作るか相談させ、人気アニメキャラクターを作ることに決めました。また、事前に、雪像のベースになる雪の塊を作るためのコンパネ枠に雪を詰める作業を、お父さん方が忙しい仕事の合間に集まって行いました。

1月25日（土）当日は、暖かい日差しの中で雪像づくりや坂滑りを楽しみました。

事前の準備から当日の運営まで、お忙しい中、保護者の皆様のチームワークが発揮され、子どもたちにとって、とても楽しい一日となりました。心よりお礼申し上げます。



## 冬休み作品発表会

1月28日（火）、「冬休み作品発表会」を実施しました。冬休み期間中に子どもたちが取り組んできた作品づくりについて発表し、それらの良さを認めるとともに、自分の取組に対する達成感を味わったり、次への意欲を高めたりする機会として位置付けています。

今回の作品は、理科の授業で学習したプログラミングを使ったラジコントラック、磁石の働きを利用したもの、リボンを使ったリース、車ボウリング、ナマコを獲るハ尺など、どの作品も子どもたちが今どんなことに興味があるのかがうかがえるものばかりでした。自分の作品の材料、作り方、工夫したところなどを発表し、質問・感想発表では、発表の仕方や作品の上手なところを認め合うことができました。

作品づくりに当たっては、ご家庭のご協力も大きなものがあったと思います。ありがとうございました。



## スキー学習

今年も春日スキー場でスキー学習を行っています。1月22日（水）、天気にもめぐまれ、初滑りができました。それぞれ担任の先生や講師の方にも手伝っていただき練習をしました。今後、あと2回の学習を予定しています。ケガなく楽しく充実した学習にしていきたいと思います。



## 薬物乱用防止教室

1月27日（月）、八雲警察署生活安全係長の山田様を講師にお招きし、5・6年生を対象とした薬物乱用防止教室を行いました。

飲酒や喫煙が子どもに様々な悪影響を与えるため20歳未満は法律で禁止されていることや、薬物が体や心に及ぼす影響について資料を基にお話していただきました。子どもたちは、薬物のおそろしさと「薬物は絶対に使ってはいけない」

「誘いの言葉にだまされないように」というお話を真剣なまなざしで聞き、しっかりと心に留めることができました。



## 子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ



いじめや不登校などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談することができます。

●電話相談 0120-3882-56（無料 24時間対応）

●メール相談 [doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp](mailto:doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp)

●来所相談 10時～16時 土日・祝日・年末年始は休業

子ども相談支援センター：札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階  
→上記の電話相談の番号で、ご予約ができます。

※センターのwebページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。

次のURLからご覧いただけます。

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/sodanjirei.pdf>